

超長期ビジョン検討の状況について

第7回超長期ビジョン検討会
平成19年3月6日

環境省 国立環境研究所 みずほ情報総研

目次

1. これまでの検討の流れ
 - ❖ ビジョン検討の手順
 - ❖ 第1～3回検討会
 - ❖ 第4～5回検討会
 - ❖ 第6回検討会
2. 合宿
 - ❖ 開催概要・目的
 - ❖ ビジョン検討の手順
 - ❖ 事前準備 ～
 - ❖ 合宿の進め方: 当初の案 ～
 - ❖ 合宿の進め方: 実際の流れ
 - ◆ グループディスカッション1 ～
 - ◆ 全体会議
 - ◆ グループディスカッション2 ～
 - ◆ 全体会議
 - ◆ グループディスカッション3～全体会議 ～
 - ❖ 合宿の成果 ～
 - ❖ 合宿の成果の整理 ～

1. これまでの検討の流れ

A stylized illustration of Mount Fuji, the highest mountain in Japan, is centered in the background. The mountain is depicted with a yellowish-white peak and greenish-grey slopes. The sky above is a clear blue gradient. Below the mountain, several layers of misty, greyish-blue hills or clouds are visible, creating a sense of depth and atmosphere. The overall style is clean and modern, typical of a presentation slide.

ビジョン検討の手順

社会経済のトレンド抽出

避けるべき課題抽出

望ましい社会・環境像作成

着手すべき課題抽出

政策手段検討

【合宿前までの状況】

15の分野について、検討会委員から

主に

社会経済のトレンド抽出、 避けるべき課題抽出、
についてご発表いただいた。

一部の分野に関しては

望ましい社会・環境像についてもご
発表いただいた。

第1～3回検討会

- ◆ 2006年6月29日 第1回検討会
 - ❖ 背景・狙い等
- ◆ 2006年8月10日 第2回検討会
 - ❖ 資源・環境問題の世界的動向について 1
 - ◆ 沖検討員「水資源問題の世界的動向」
 - ◆ 川島検討員「世界の食料需給」
 - ◆ 湯本検討員「生物多様性」
- ◆ 2006年9月19日 第3回検討会
 - ❖ 資源・環境問題の世界的動向について 2
 - ◆ 花木検討員「都市と環境」
 - ◆ 山本検討員「森林資源」
 - ◆ 湯原検討員「2050年のエネルギー構成」

第4～5回検討会

◆ 2006年10月6日 第4回検討会

- ❖ 西岡主査「気候変化対応から見た将来ビジョン」
- ❖ 国際関係と環境・持続可能性等について
 - ◆ 太田検討員「国際政治と超長期ビジョン」
 - ◆ 明日香検討員「中国・温暖化・国際協力」
 - ◆ 細田検討員「超長期ビジョンについて（経済学の立場から）」

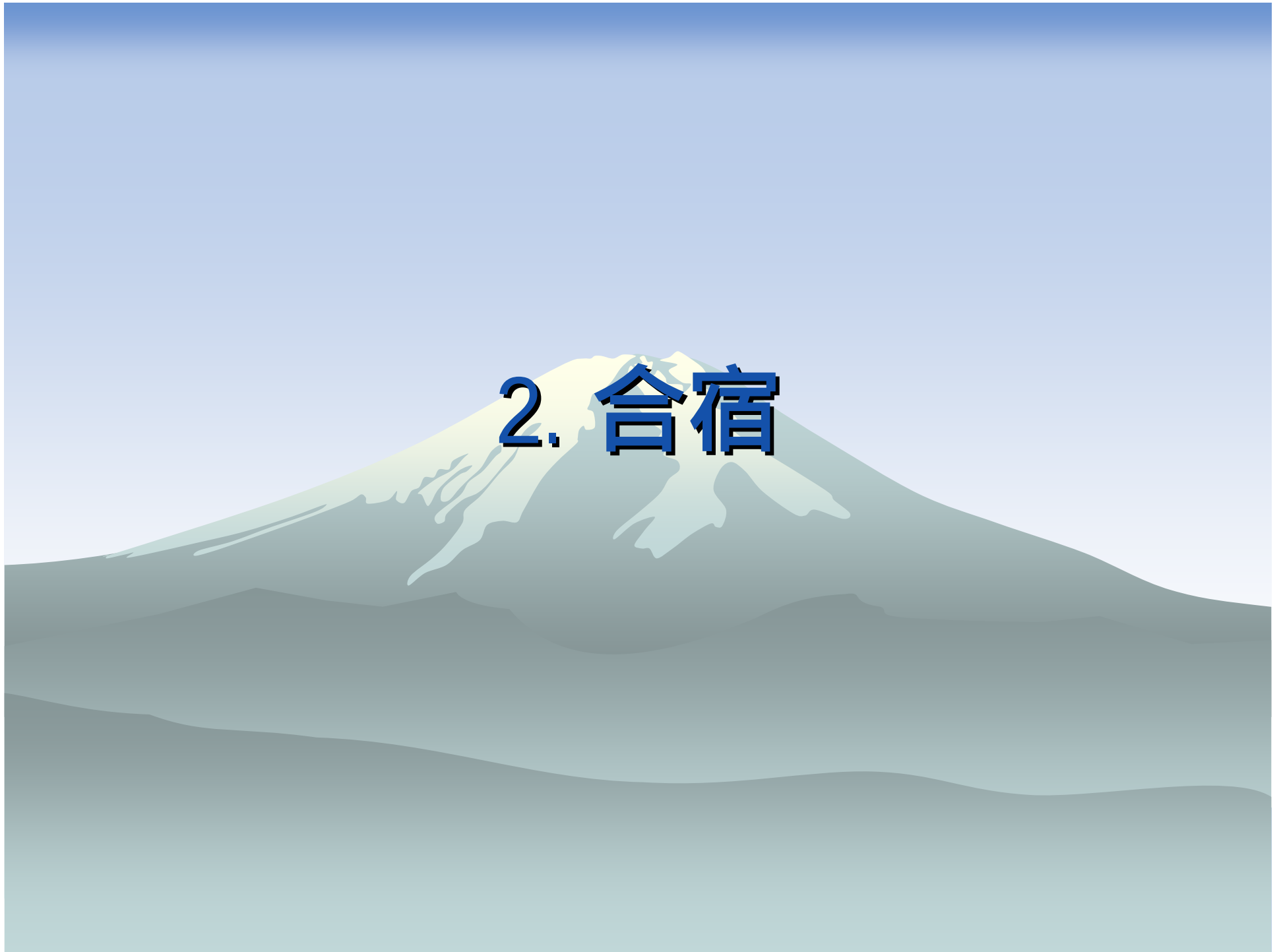
◆ 2006年10月27日 第5回検討会

- ❖ 森口検討員「廃棄物・循環型社会分野の展望について」
- ❖ 日本社会の動向と環境・持続可能性等について
 - ◆ 柴田検討員「化学物質と環境」
 - ◆ 広井検討員「日本における「持続可能な福祉社会」の可能性」
 - ◆ 若林検討員「人口問題 - 世界、中国、日本の展望と課題」

第6回検討会

- ◆ 2006年12月12日 第6回検討会
 - ❖ ゲストスピーカー松田教授「海洋生態系の持続可能性について」
 - ❖ 持続可能性に関わる諸要素の関係整理について
 - ❖ 合宿の進め方について

2. 合宿



開催概要・目的

◆開催概要

- ❖ 日時: 2007年1月19日(金) ~ 20日(土)
- ❖ 会場: 東京ベイ有明ワシントンホテル
- ❖ 委員: 16名
- ❖ 事務局: 環境省、国立環境研究所、みずほ情報総研

◆目的

各領域における持続可能性に関わる問題の認識を踏まえつつ、2050年の持続可能な社会像とそれに向けて何を作成すべきか(超長期ビジョンはどうあるべきか)について検討し、超長期ビジョンの素案を作成する